
ロゴマークを策定しました

財務総合政策研究所

財務総合政策研究所（以下、「研究所」という。）では、新たにロゴマークを策定しました。研究所は1985年5月設立から25周年という節目の年であるほか、一部の職員間でロゴマーク策定に向けての機運が高まったことから、昨年11月に研究所の職員を対象にデザイン募集を行い、研究所職員によるコンテスト（投票）を経て、以下のデザインが採用となりました。

応募状況も、研究所職員の支持が採用デザインと二分するほどの秀逸なものから、思わず「これは!？」と絶句するほどのシュールな作品まで、バラエティに富んだ数々の応募があり、採用者及び優秀作品提出者には振角所長から表彰を行うなど、活気に溢れた記念行事的なイベントとなりました。

今後は、研究所ホームページや刊行物などの媒体を介して対外発信機能を高め、研究所のブランド力とイメージの向上に役立てて参ります。

【財務総研ロゴマーク】



【デザインの説明】～研究所ホームページより

財務総合政策研究所がこれまで取り組んできた財政経済に関する豊富な調査研究実績や情報資源など、時代の経過とともに築き上げてきた組織の基盤を青いブロックで表現し、「人」を模した当研究所スタッフが、調査研究や国際交流活動などのさまざまな業務を通じて、国内のみならず国際的な広い視野を持って、財政経済に関する諸課題に対し積極的に取り組んでいく姿を表しております。

また「PRI」は、財務総合政策研究所の英語表記である「Policy Research Institute」の頭文字を採用しており、かつ小文字をデザイン化することで、より多くの皆様に親しみを持って頂けるように心がけました。

【デザイン作成者の声】～研究所調査統計部長 日野直道氏

ロゴマーク作成にあたり、我が研究所という組織をじっくりと考える良い機会となりました。

デザインの意図は、上記のとおりですが、人を模した頭の部分は、研究などには欠かせない新たな発想や情熱をイメージし、印象的なオレンジ色としました。ロゴマークを一番目にする機会が多い研究所のスタッフの皆さんにも作者の意図を感じていただければありがたいです。もともとデザインなどに興味があり、今回、それが職場にいくらかでも貢献できたことは大変うれしく思っております。こうした機会をいただき誠にありがとうございました。